

〈発行〉二所ノ関部屋後援会

〈発行〉〒273-0037

千葉県船橋市古作4-13-1

〈協力〉スポーツニッポン新聞社

第71号

二所ノ関部屋

千羽鶴の祈り届き驚異の回復

親方

名古屋場所

感謝の

15日間

比

自勤

昨秋に船橋市内で倒れてハビリ中だった二所ノ関親方(元大関・若嶋津)が奇跡の復活を遂げた。5月の夏場所中に退院し、7月の名古屋場所も会場のドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)には15日間皆勤。場所後の打ち上げなどに姿を見せるなど順調な回復を示している。今後もしハビリなどで完全復活を目指す一方、秋場所(9月9日初日、東京・両国国技館)で奮起を誓う弟子たちを指導する。

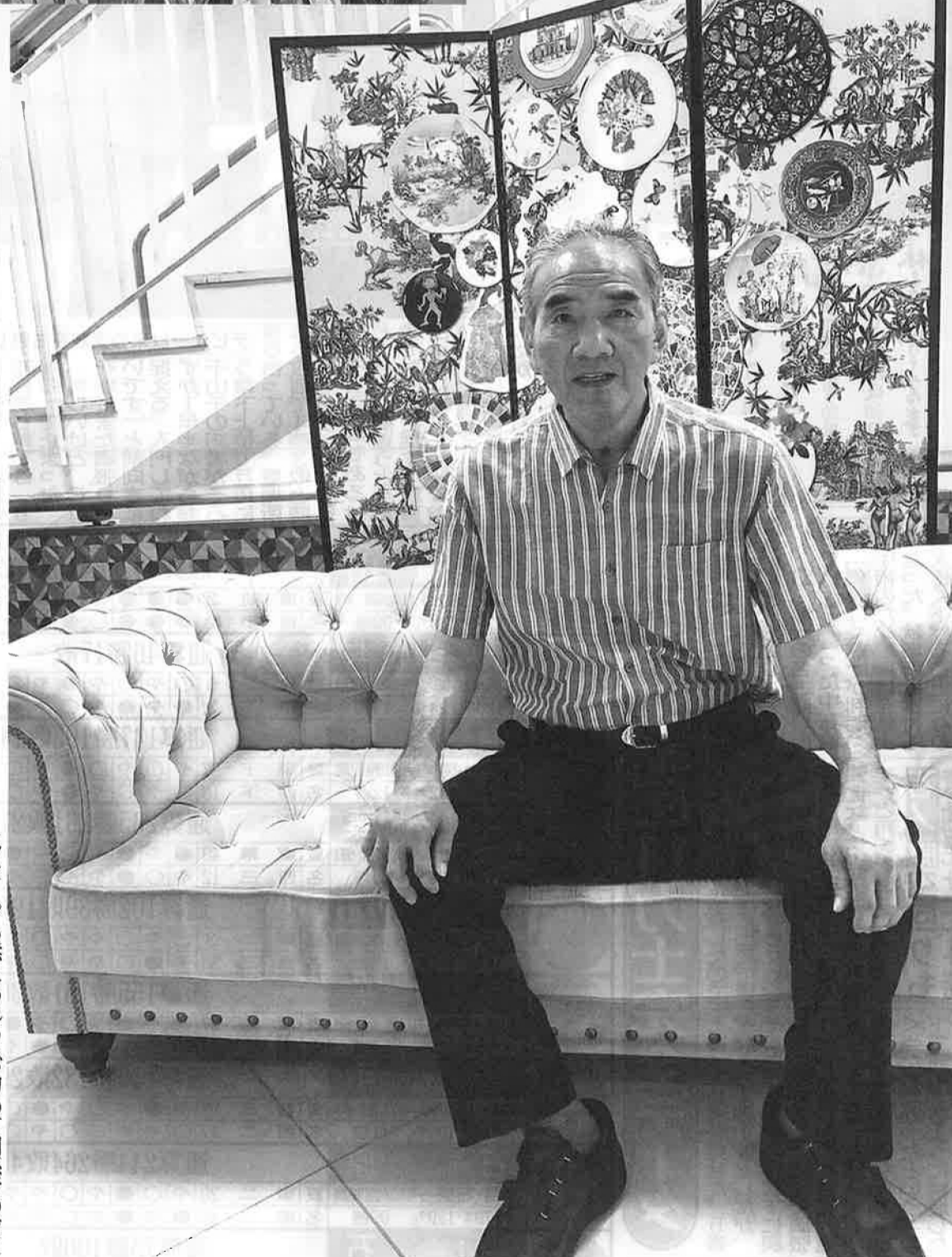


⑤応援や支えを胸に、完全復活へ向け一歩一歩地道なりハビリに励む二所ノ関親方。稽古場の上がり座敷につるされた千羽鶴(写真⑥も)には「早く良くなって下さい。心から祈っています」の言葉が



ちよつと千羽鶴。二所ノ関部屋の稽古場。上がり座敷には天井の両サイドから彩り鮮やかな千羽鶴が吊るされている。「復帰を心から祈っています」のメ

「本当に皆様の支えがあつてここまで来ました」



る。「力士や周囲の方がそのままだにしておいては、と提案されました。本当に皆様の支えがあつてここまで来ました」。みづえ夫人が感謝の言葉を述べる。家族、部屋関係者、弟子、ファンの願いが届き、師匠の容体は順調に回復している。昨冬、みづえ夫人は「親方に背広を着させて国技館の門と一緒にくぐることが当面の目標」と明かしていたが、半年も経たないうちに夢が叶った。夏場所前、師匠はみづえ夫人らと国技館を訪れ、八角理事長(元横綱・北勝海)らと面会した。「トイレの場所など今後のための下準備なども兼ねてうかがいました。地下駐車場から皆様が迎えてくれて。感謝感激で、うろたえました」とみづえ夫人。夏場所中に退院すると、7月の名古屋場所も宿舎と日課だった散歩は夜に行い、若手を誘ってコミニケーションをはかっている。ここまでの道のりも奇跡的だったが、一歩一歩着実に「前進」している。(黒田 健司郎)

一歩一歩前へ

(黒田 健司郎)

松鳳山初の殊勲賞

5度目の小結「力不足」試練の3勝12敗も 地元場所へ「もっと頑張る」秋へ闘志全開

名古屋場所では通算5度目の小結。三役初の勝ち越しを目指した松鳳山だが、3勝12敗と崩れた。場所前の稽古も順調だったが、猛暑がこたえたわけでもない。全然ダメだし、力不足だったという「こと」と深く振り返った。

逆に夏場所は「非常に良かった」という。4日目に優勝した横綱・鶴竜を撃破。自身5個目の金星が認められ初の殊勲賞を受賞した。優勝するまで受賞が決まらなかっただけに、「優勝が決まった取組は、見ていて吐き気がしそうでした」と苦笑いだ。



名古屋場所では通算5度目の小結。三役初の勝ち越しを目指した松鳳山だが、3勝12敗と崩れた。場所前の稽古も順調だったが、猛暑がこたえたわけでもない。全然ダメだし、力不足だったという「こと」と深く振り返った。

では番数が少なくなるのが悩ましいところだ。秋場所は中位に下がるが、毎年地元の大先輩が待っている九州場所について、大相撲夏場所千秋楽の初めに殊勲賞を受賞した松鳳山

初の4敗糧に 一山本再進撃

順調に番付を駆け上がってきた一山本は、東幕下3枚目で迎えた名古屋場所でも3勝4敗と負け越し。デビュー以来の連続勝ち越しは「8場所」で止まった。「悔しいけど、これを糧にまた頑張りたいです」と前向きに捉える。入門してわずか1年半ながら海千山千の巧者がそろった幕下上位で互角に渡り合っている。夏場所は5枚目で4勝3敗と勝ち越し「それなりに勝っている感覚もあるけど、ひとつ間違えると全然勝てない」と話す。松鳳山の付け人を務めており、日頃から多くを吸収。秋場所は仕切り直しとなったが、「立ち合いから突っ張って前に出る自分の相撲が取れるように」と意欲を見せた。

「名古屋」に気合のリベンジ 中園2場所連続5勝!!

中園が2場所連続で5勝を挙げた。昨年の名古屋場所前の連合稽古で右膝半月板を損傷して全休。自己最高位(当時)の幕下11枚目まで上がった矢先の出来事だっただけに悔しさもあつたが、地道に番付を回復。「1年前のこともあったので名古屋は気合も入った」と結果を出せてうれしさと振り返る。

三段目に復帰する若山中は、湊川メニューでたしめ、鍛錬。留守部隊が作製したメニュー表



若山中 感謝の汗だく

巡業留守部隊に 湊川「特別」

夏巡業には部屋頭の松鳳山と付け人の一山本、横綱・稀勢の里の付け人の中園、有川らが参加。留守部隊は故障者が多いため、湊川親方(元小

目と叱咤(しつた)のものまで、若山中は汗だくで消化。湊親方は「自分が現役のころは、こんな当たり前前と話し、若山中もきついで、自分のためです」と玉のような汗を流した。4度目の三段目となる秋場所へ意欲を見せた。



黒ヒョウ軍団11力士完全データ

網膜はく離判明 中石無念の全休

〇：地元の名古屋場所稽古を中断した中石は「網膜はく離」が判明、手術のため場所は全休となった。秋場所は番付も大きく下がることになり「前から見えにくい」と思っていました。徐々に悪化

若ノ藤空回りも 意地見せた4勝

〇：夏場所初幕下昇進を果たした若ノ藤は、1勝6敗と奮わず、名古屋場所は三段目に陥落。出直しの場所となったが、地元

石原

腰痛はだいぶ良くなった。名古屋では稽古もできたが、勝ち越せなかった。秋場所は大勝ちしたい。

山

名古屋場所は、急に蜂窩(ほうか)織炎(おひだ)になって途中休場。1週間ぐらい入院しました。早く復帰したい。

姓名	本名	出身	年齢	最高位	通算勝	通算敗	通算休
松鳳山	松谷裕也	福岡	27	最高位小結	442	415	22
一山本	山本大生	北海道	17	最高位幕下3	46	17	0
中園	中園 空	鹿児島	12	最高位幕下11	147	105	14
若ノ藤	藤村崇司	愛知	25	最高位三段目6	265	261	27
若若龍	佐藤宏哉	北海道	13	最高位三段目41	102	89	19
今福	今福順也	京都	10	最高位三段目68	155	151	30
若山中	山中頭斗	福岡	11	最高位三段目83	119	132	29
石原	石原一平	鹿児島	25	最高位三段目77	244	264	45
中石	中石流威	愛知	14	最高位序二段12	75	100	0
有川	有川義一	鹿児島	29	最高位三段目76	192	193	0
山下	山下一樹	福岡	14	最高位序二段68	59	123	0

今後の日程

8月31日 横濱稽古総見(教習所)
9月3日 二所ノ関一門連合稽古(二所ノ関部屋)
9月4日 連合稽古(尾車部屋)
9月9日 取組編成会議
9月23日 秋場所初日
9月26日 秋場所千秋楽九州場所番付編成会議
10月1日 日本力士選士権(西国技館)



師匠	年寄	年寄	年寄	行司	行司	床山	呼び出し	呼び出し	床山	マネージャー
日高 六男	南 忠晃	安本 栄来	岡部 新	押田 裕光	水谷 洋二	平島 和之	美根 禎弘	朝倉 悟	松原 弘一	青菜 恭孝
1957年1月12日	1956年10月29日	1974年4月19日	1977年9月15日	1973年4月29日	1976年7月31日	1958年5月26日	1976年4月3日	1977年6月17日	1968年8月25日	1963年10月16日
鹿児島県熊毛郡	福井県大野市	東京都江戸川区	福島県西白河郡	千葉県柏市	鹿児島県	東京都江東区	埼玉県さいたま市	静岡県湖西市	愛知県豊田市	愛媛県吉海町